

学習時における BGM 使用の影響

A

1. 図書館や講義室において、イヤホンに耳を差し込み、自学している姿をよく見かける。
2. 私も高校時代まで、そのような習慣を持っていた。
3. ある時、音楽を聴きながら学習すると、周囲の雑音はかき消されるものの、学習内容が頭に入らないということに気づいた。
4. そのため、今ではそのような習慣はなく、学習時は BGM を使用していない。
5. 学習時に BGM を使用すると、内容が頭に入らないのはなぜか。
6. 本レポートでは、この疑問を、先行研究を用いて解決する。

B

7. 菅・後藤(2008)は、BGM を使用して学習している大学生と、そうでない学生を対象に、次のような研究を行ったⁱ。
8. それは、BGM 有り無しとの二つの条件のもと、それぞれの学生に計算・記憶課題をさせて、その違いを検討するものである。
9. なお、この研究において用いられた BGM は、ヴィヴァルディの協奏曲であった。
10. 実験の結果、BGM がある条件では、普段そのような学習習慣があるか否かにかかわらず、気が散るという傾向があったという。
11. さらに、普段 BGM を使用している学生は、BGM があるとリラックスでき、使用していない学生はいらいらして、不快な気分になるという結果になった、としている。

C

12. 合掌・水野(2010)は、BGM を使用する習慣によって被験者を分け、その被験者を、さらに3つの条件に分けて、記憶・計算課題をさせる研究を行ったⁱⁱ。
13. その条件とは、BGM を使用しない条件、バッハの協奏曲をリラックス音楽として使用する条件、そして、被験者の好みの音楽を BGM に使用する条件である。
14. 記憶・計算課題のどちらにおいても、好みの音楽を BGM に使用した場合、普段 BGM を使用して学習する習慣の有無にかかわらず、誤答数が多いという結果になったとしている。
15. また、BGM 使用習慣のある被験者にとっては、BGM をかけることが好ましい学習環境となり、そのような習慣のない被験者にとっては、BGM をかけない方が学習環境として好ましいと報告している。

D

16. これらの先行研究から、BGM 使用が学習に及ぼす影響は、普段その習慣があるかによって異なり、一概によくないことであると言えない、ということがわかった。
17. また、好みの音楽は、BGM にはふさわしくないということもわかった。
18. 私がかつて BGM を使用していたとき、好みの音楽を BGM として使用していた。

19. また、学習が長時間にわたると、BGMを聞き入ってしまうという傾向もあった。
20. そのことが、学習内容が頭に入らなかった要因なのではないかと結論付けられる。

参考文献

- [1] 合掌顕・水野有友里(2010)「「好ましい」BGMが作業効率に与える影響」、『MERA』、第26号、p.30
- [2] 菅千索・後藤順子(2008)「計算および記憶課題に及ぼすBGMの影響について-被験者の「ながら」習慣の違いに関する検討-」、『和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要』、No.18、pp.59-68

i 菅・後藤(2008,pp.59-68)参照。

ii 合掌・水野(2010,p30)参照。

(1120文字)